

在留資格切れのベトナム人5人を稼働 神戸の解体業者を入管法違反容疑で逮捕

2026.01.15

兵庫県警国際捜査課と長田署は2026年1月15日、在留期間の過ぎたベトナム国籍の男性5人を神戸市内の解体現場で働かせたとして、入管難民法違反（不法就労助長）の疑いで同市兵庫区の解体業の男（33）を逮捕した。逮捕容疑は前年10月と11月の3日間、須磨区と垂水区の解体現場で作業員として働かせた疑い。

県警の調べに対し男は「在留資格はあると思っていた」と容疑を否認しているという。

捜査は、不法残留容疑で逮捕・起訴された5人の供述から男の関与が浮上したことがきっかけだった。

国際捜査課によると、男は解体業で年間1億円以上の収入を得ていたとみられる。

人手不足が深刻な解体業界で、外国人労働者への依存度の高さが浮き彫りになった形だ。



出典：神戸新聞NEXT <https://www.kobe-np.co.jp/news/jiken/202601/0019915418.shtml>

育成就労制度の実務ポイントを解説 兵庫県が外国人雇用セミナーを開催

2026.02.16

兵庫県は2026年2月16日、県内企業向けに外国人材の雇用理解を深めるセミナーの開催を発表した。

3月3日に神戸クリスタルタワーで開き、2027年施行予定の育成就労制度の実務ポイントや、外国人政策基本方針を踏まえた企業の対応について特定社会保険労務士の橋本裕介氏が解説する。

あわせて、人材送り出し企業ESUHAIの清水寛子氏がベトナム人材の動向と現地での送り出しの取り組みを紹介する。

対象は県内で外国人雇用に関心がある、または既に雇用している企業・機関で、参加費は無料、定員50人の先着順。

申し込みは2月25日締め切りで、運営は兵庫県から委託を受けた外国人雇用HYOGOサポートデスクが担

出典：兵庫県（記者発表資料）

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/sr06/press/20260216.html>

【主催】兵庫県 / (一財)兵庫県雇用開発協会 ひょうご・しごと情報広場 外国人雇用HYOGOサポートデスク

2025年12/1(月) 14:00~16:00

外国人雇用に関するセミナー

我が国の外国人受け入れ政策は「労働力確保」と「共生社会の実現」の両立を目指して大きく見直されています。
昨年からは特定技能2号制度の本格運用により、企業の人材確保に新たな選択肢が生まれています。
2027年には技能実習制度に代わる「育成就労制度」の導入が予定され、事業者には在留資格の理解と適正な労務管理、処遇の多言語化や生活支援など定額支援の進化が求められます。
本セミナーでは、制度の最新動向と労務管理の両面から実践対応のポイントを解説します。

◆ 事業者が知っておくべき新しい外国人労働者の受け入れ方法と労務管理
— 留学生、特定技能、技能実習(育成就労)ごとに異なる採用の留意点 —

【講師】 橋本 裕介氏
特定社会保険労務士・特定行政書士
ブリック労働法務事務所代表・(一社)国際労働法政協会 代表理事
梅花女子大学・京都先端科学大学・大手前短期大学非常勤講師
兵庫県2つの市長、国立大学中退、国大が留校了、大手企業就職、留学生発着などを経て現職、外国人を雇用する企業の人事・労務管理に精通し、講演・研修実績が多数。

◆ ひょうごグローバル人材活躍企業認定制度について
兵庫県産業労働部能力開発課

◆ 外国人留学生採用ワンストップ窓口について
大学コンソーシアムひょうご神戸 国際交流・キャリアチーム次長 鈴木 真紀子氏

◆ 外国人雇用HYOGOサポートデスクについて
ひょうご・しごと情報広場 外国人雇用HYOGOサポートデスク 主任相談員 前田 清明

参加無料

外国人材が働きやすい企業を認定 「ひょうごグローバル人材活躍企業認定制度」募集開始

2026.03.12

兵庫県は2026年3月12日、外国人材が安心して就職・定着できる働く環境を整えた企業を県が認定する「ひょうごグローバル人材活躍企業認定制度」について、令和8年度第1回の募集を開始したと発表した。

同制度は前年度に創設されたばかりで、多文化共生や人手不足への対応を進める企業を後押しする狙いがある。認定を受けた企業は、外国人雇用に積極的な姿勢を対外的に示すことができ、採用活動での訴求力向上が期待される。

制度の運営は兵庫県産業労働部能力開発課が所管し、外国人雇用HYOGOサポートデスクを通じて申請や相談を受け付けている。

県内企業の外国人材受け入れが年々拡大する中、定着支援策の一つとして注目されている。



出典：外国人雇用HYOGOサポートデスク <https://supportdesk-hyogo.com/info/>

在留期限切れの2人を資材置き場で稼働 加古川市の建設業者を入管法違反容疑で逮捕

2026.04.09

兵庫県警加古川署と県警外事課は2026年4月9日、在留期間の過ぎた外国人を働かせたとして、入管難民法違反（不法就労助長）の疑いで神戸市西区の建設業の男（36）を逮捕した。

逮捕容疑は、20代と40代の男2人と共謀し、前年夏から今年3月にかけて、稲美町の資材置き場でベトナム国籍の29歳と24歳の男性を作業員として働かせた疑い。

逮捕された2人はいずれも不法残留容疑で起訴済みで、同署は3月10日にベトナム国籍の2人を先行して逮捕し、その後の調べで雇用主側の関与が浮上したという。

同署は容疑の認否を明らかにしていない。

人手不足が深刻な建設業界での外国人材への依存と、在留資格確認の甘さが背景にあるとみられる。



出典：神戸新聞NEXT <https://www.kobe-np.co.jp/news/jiken/202604/0020223812.shtml>

神戸・三宮のスナックで資格外のベトナム人2人稼働 店長の女を入管法違反容疑で逮捕

2026.04.21

兵庫県警生田署は2026年4月21日、就労の許可を得ていない外国人女性を働かせたとして、入管難民法違反（不法就労助長）の疑いで神戸市長田区に住むベトナム国籍のスナック店長の女（31）を逮捕した。

逮捕容疑は2月28日から3月31日にかけて、神戸市中央区加納町のスナックで、資格外活動の許可を得ていないベトナム国籍の20代女性2人をホステスとして働かせた疑い

。署の調べに容疑を認めており、風営法に基づく立ち入り検査で発覚した。

女は「人手不足だった」と説明しているという。

同じ店舗を巡っては前年12月にも、経営者の女が特定技能で在留する中国人女性を不法就労させた疑いで逮捕されており、繁華街での在留資格確認の甘さが繰り返り問題となっている。



特定技能のベトナム人男性を資格外業務に従事 清掃会社採用担当の男を入管法違反容疑で逮捕

2026.05.20

兵庫県警生田署は2026年5月20日、就労許可を得ていない外国人を働かせたとして、入管難民法違反（不法就労助長）の疑いで神戸市灘区の清掃会社で採用担当を務めるベトナム国籍の男（29）を逮捕した。

逮捕容疑は2025年12月26日から2026年1月20日にかけて、特定技能の在留資格を持つベトナム国籍の20代男性を、資格外の作業員として清掃会社で働かせた疑い。

署の調べに「間違いない」と容疑を認めているという。捜査のきっかけは2025年10月14日に寄せられた「外国人が不法就労している場所がある」との情報提供で、署が内偵を進めていた。

特定技能という正規の在留資格を持ちながら、認められた業務区分外で働かされていた実態が明らかになった。



出典：神戸新聞NEXT

<https://news.yahoo.co.jp/articles/3952544eeff6386d99e84ff2495911acf3125755>

神戸市と兵庫県、留学生向け合同企業説明会 複数職種で活躍する外国人材の事例紹介も

2026.06.17

神戸市と兵庫県は2026年6月17日、外国人留学生を対象とした合同企業説明会を開催した。

開催に先立つ6月10日から12日には、オンデマンド形式で「実践事例で学ぶ！兵庫県企業の外国人留学生採用と活躍のリアル」と題した動画を配信し、複数の職種で活躍する外国人社員の事例や、採用担当者の視点から見た評価されるポイントを紹介した。

あわせて日本の就職活動のルールや自己PRの伝え方を学ぶ準備セミナー、書類・面接対策講座も用意した。

企業ブースでの面談から、希望に応じてその場で本格的な面接に進める専用スペースも設けた。

留学生の県内企業への就職を後押しし、多文化共生の地域づくりにつなげる狙いがある。



出典：神戸市・兵庫県（留学生向け合同企業説明会HP） <https://kobe-globalcareer.com/>

産官学連携で高度外国人材を育成 特定技能取得と定着を一貫サポート

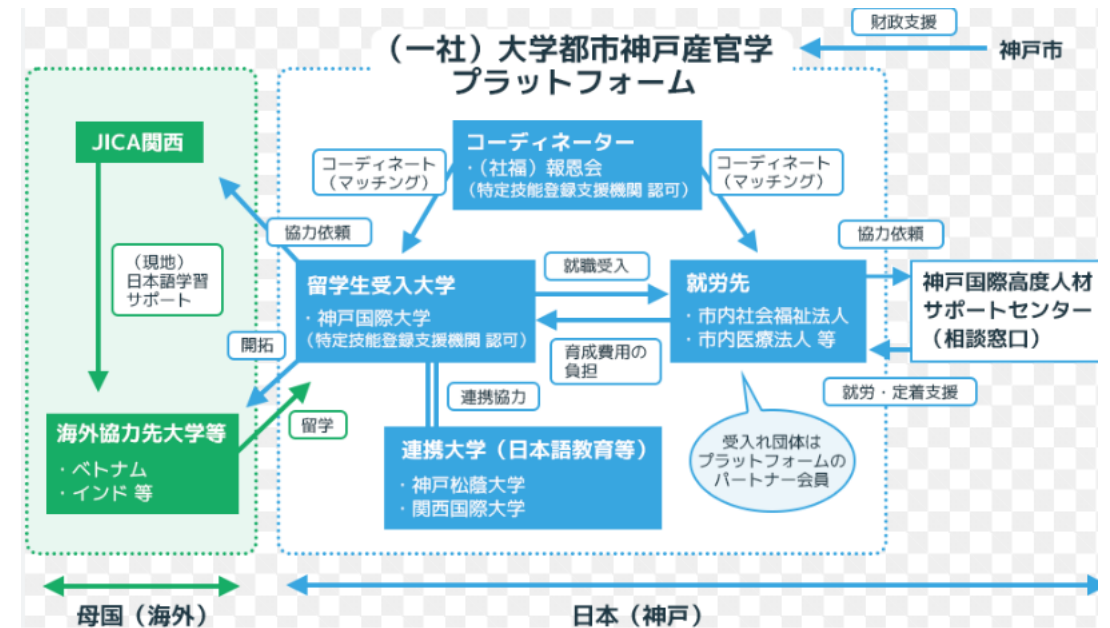
2026.06.25

大学都市神戸産官学プラットフォームが運営する「神戸外国人高度専門人材育成プロジェクト」は、大学や企業、行政が連携し、外国人材が特定技能1号などの資格を取得し県内企業に定着するまでを一貫して支援している。

受け入れ人数は2024年度の40人から2025年度は70人、2026年度は90人、2027年度は100人へと段階的な拡大を計画し、連携する国・機関数も2024年度の3カ国4機関から2026年度は5カ国8機関に広げる方針だ。

プロジェクトに参加するベトナム出身の女性は、介護技術の先進国である日本で働きたいとの思いから来日したという。

日本語や実務面での手厚いサポートを受けながら、3年後の介護福祉士資格取得を目標に日々研さんを積んでいるという。



出典：大学都市神戸産官学プラットフォーム
<https://kobeplatform.or.jp/training/>